

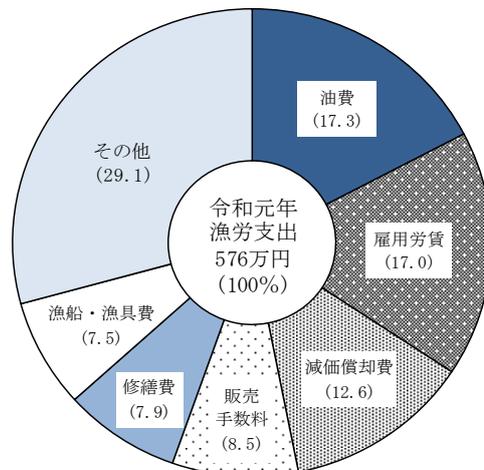
1 個人経営体（漁船漁業）

1 経営体当たり漁労収入は806万円で、漁獲量の減少により、前年に比べて4.0%減少した。

また、漁労支出は576万円で、雇用労賃、油費、修繕費等の減少により、前年に比べて2.6%減少した。

この結果、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は230万円となり、前年に比べて7.4%減少した。

図1 個人経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合



注：割合については表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表1 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区分	平成30年	令和元年	対前年差	対前年増減率
	千円	千円	千円	%
漁労収入	8,398	8,058	△ 340	△ 4.0
うち制度受取金等（漁業）	349	485	136	39.0
漁労支出	5,910	5,755	△ 155	△ 2.6
うち油費	1,024	996	△ 28	△ 2.7
雇用労賃	1,173	980	△ 193	△ 16.5
減価償却費	699	727	28	4.0
販売手数料	501	490	△ 11	△ 2.2
修繕費	481	455	△ 26	△ 5.4
漁船・漁具費	418	433	15	3.6
漁労所得	2,488	2,303	△ 185	△ 7.4
漁労所得率 (%)	29.6	28.6	△ 1.0	nc
漁獲量 (kg)	15,908	14,218	△ 1,690	△ 10.6

2 会社経営体（漁船漁業）

1 経営体当たり漁労売上高は2億9,555万円で、漁獲量の減少により、前年に比べて11.0%減少した。

また、漁労支出は3億2,999万円で、労務費、漁船・漁具費等の減少により、前年に比べて8.2%減少した。

この結果、漁労売上高から漁労支出を差し引いた漁労利益はマイナス3,445万円となり、前年に比べて678万円マイナス幅が拡大した。

図2 会社経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合

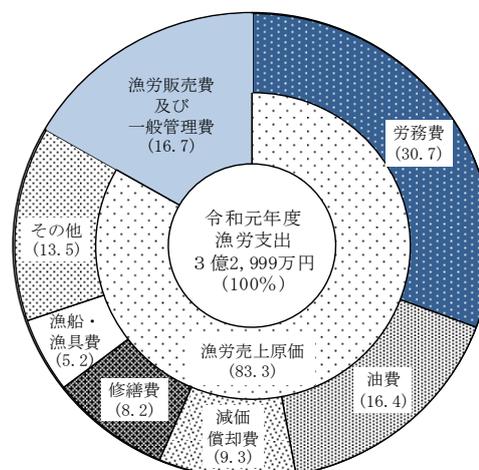


表2 会社経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	平成30年度	令和元年度	対前年差	対前年増減率
	千円	千円	千円	%
漁労売上高	331,956	295,549	△ 36,407	△ 11.0
漁労支出 (①+②)	359,622	329,994	△ 29,628	△ 8.2
漁労売上原価 ①	298,870	274,881	△ 23,989	△ 8.0
うち 労務費	111,054	101,204	△ 9,850	△ 8.9
油費	54,639	54,110	△ 529	△ 1.0
減価償却費	31,436	30,840	△ 596	△ 1.9
修繕費	30,556	27,015	△ 3,541	△ 11.6
漁船・漁具費	21,398	17,046	△ 4,352	△ 20.3
漁労販売費及び一般管理費 ②	60,752	55,113	△ 5,639	△ 9.3
漁労利益	△ 27,666	△ 34,445	△ 6,779	nc
漁労外利益	30,483	27,196	△ 3,287	△ 10.8
営業利益	2,817	△ 7,249	△ 10,066	nc
営業外収益	14,310	14,356	46	0.3
営業外費用	3,921	4,181	260	6.6
経常利益	13,206	2,926	△ 10,280	△ 77.8
漁獲量 (t)	2,048	1,846	△ 202	△ 9.9